

★チャレンジ! 夢に向かって★

～ふるさとを愛し、一人一人が「か・が・や・く」国見の子の育成～

毎月第1木曜日は「読書の日」

6月3日(月)の国見っこタイムの時間に、読み聞かせボランティア「ふれあいほっとルーム『虹』」の〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんによる紙芝居の読み聞かせを行いました。読み聞かせ初日ということもあり、3日(月)は図書委員が「はじめの会」を企画してくれました。今回は日本語と英語による「あかずきんちゃん」の紙芝居を行いました。少し長いお話でしたが、みんな真剣に聞いていました。読み聞かせの後には、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんが感想発表をしてくれました。



さて、令和2年4月に大仙市教育委員会で作成した「第3次大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画(計画期間:令和2～6年度)」では、家庭や地域、社会が一体となった読書活動を推進しており、毎月第1木曜日を「読書の日」として市民への啓発に努めています。本日、本校では朝の時間に1・2年生の教室で大型絵本の読み聞かせを行いました。今回は〇〇〇〇作の絵本「しりとりのだいすきなおうさま」を読みました。絵本の読み聞かせは、教師が「読む」子どもが「聞く」という一方通行のようなコミュニケーションですが、絵本を通して教師と子どもの関係を深めてくれます。絵本の読み聞かせの時間は、教室という空間の中で、教師と子どもと一緒に絵本という無限の世界の旅をする時間といえます。これからも大切にしていきたいと考えています。

また、4月のPTAの際にお渡しした「太田北小学校 基本ガイド」にも示していますが、毎月第1木曜日には「家読」を進めています。「家読」とは、「家族ふれあい読書」という意味で、読書を通じてコミュニケーションを図り、家族の絆をつくる取り組みです。「家読」には、次のような効果があるといわれています。

- 親子で夢について話し合うことができます。
- 親子でお互いに考えていることが分かるようになります。
- 本を読むきっかけづくりができます。
- 今まで気付かなかった子どもの新たな発見があります。

毎月第1木曜日は、家族みんなで読書に取り組んでみてはいかがでしょうか。